

事務事業評価における総括

部 局 名	財務部	記入責任者	青柳 道文
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>財務部の政策的事業は、8事業のうちS評価7件、C評価1件としていることから、概ね順調に進捗しています。財務部という部局の性質上、政策的事業の数は必ずしも多くはないものの、今後においても、部局内の大半を占める定例的な事業を迅速かつ的確に進めるとともに、政策的事業についてもしっかりと取り組みを進めます。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「寄附の採納事務」については、本市に対するふるさと納税を促進するために、新たなポータルサイトを導入し、制度利用を促進したほか、庁内連携により魅力ある返礼品の拡充等に取り組むことで寄附金の増額につなげたため、S評価としました。</p> <p>「本庁舎跡地周辺整備事業」については、市役所前広場の供用開始により利用者の安全性や利便性が向上したほか、仮設庁舎跡地の活用に進捗が見られたため、S評価としました。</p> <p>「納税推進センター事業」については、S評価としていますが、現年の市税収納率は高推移を保ち、初期滞納者の減少に伴い架電対象者が減少していることから、令和2年度をもって事業を休止しました。</p> <p>「クレジットカード収納の導入」については、新型コロナウイルスへの強靱化対策として、国の臨時交付金を活用し、キャッシュレス支払いによる納税を可能としたため、S評価としました。</p> <p>「その他市税還付金及び還付加算金の事務」については、目標値である0件には及ばなかったためC評価としましたが、一定の成果はあったものと考えています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>財務部の事務事業は概ね順調に進捗しており、今後も継続して業務を進めます。</p> <p>財務部の使命として、安定的な財政運営を維持するため、市税の適正な賦課及び徴収率の維持向上に努めるとともに、自主財源確保に対する取り組みとして、ふるさと納税制度の活性化をはじめとした、さまざまな対策を積極的に検討していきます。</p> <p>コロナ禍における新たな生活様式が求められる中、ICTを活用した効率的な事務の進め方や働き方の見直し、非対面型、非来庁型への転換による市民サービスの向上に向けた検討を進めるなど、新型コロナウイルス感染症対策を着実に実施していく中で、財務部が担うべき取り組み事項についてしっかりと取り組みを進めるとともに、「茅ヶ崎市財政健全化緊急対策」の趣旨を十分に踏まえ、持続可能な行政経営を着実に進めます。</p>			